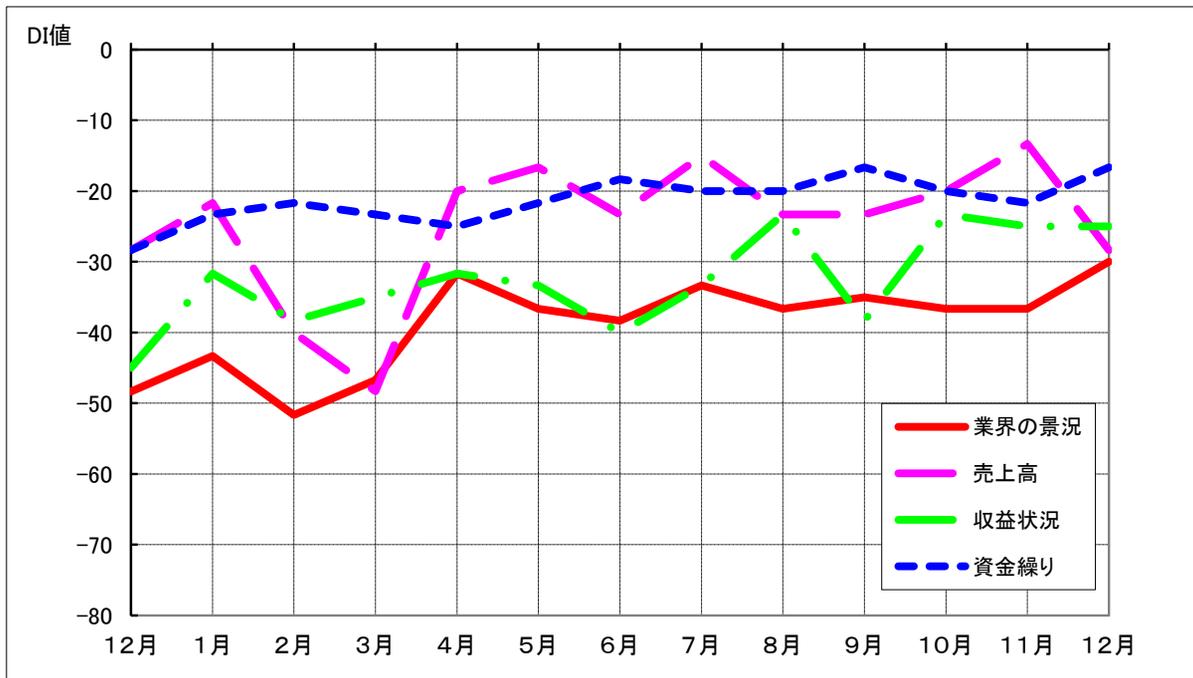


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成23年12月～平成24年12月

単位:ポイント



H23 H24

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業界の景況	-48.3	-43.3	-51.7	-46.7	-31.7	-36.7	-38.3	-33.3	-36.7	-35.0	-36.7	-36.7	-30.0
売上高	-28.3	-21.7	-40.0	-48.3	-20.0	-16.7	-23.3	-15.0	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-28.3
収益状況	-45.0	-31.7	-38.3	-35.0	-31.7	-33.3	-40.0	-33.3	-23.3	-38.3	-23.3	-25.0	-25.0
資金繰り	-28.3	-23.3	-21.7	-23.3	-25.0	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0	-21.7	-16.7

○12月のDI値は前月と比べ、1項目で悪化し、2項目で改善した。「売上高」DI値は15ポイント悪化し、「業界の景況」DI値は6.7ポイント、「資金繰り」DI値は5ポイントそれぞれ改善した。「収益状況」DI値は変わらなかった。前年同月と比べると、「業界の景況」DI値は18.3ポイント、「収益状況」DI値は20ポイント、「資金繰り」DI値は11.6ポイントそれぞれ改善し、「売上高」DI値は変わらなかった。製造業においては、一部の業種で好調な動きが見られるものの、依然として受注の減少が根強く、生産・出荷の低調な状況が見られる。非製造業においては、降雪等に伴う売上高の減少が見られる。総じて、長引く景気の低迷で厳しい見通しが続く中、新しい政治体制に早急な景気回復策を期待したいという声が多い。

○組合の特記事項からは、製造業では、蒟蒻製造業から、原料価格は比較的安値で推移したが、安売りを仕掛ける業者もあり市場を注視していく必要があるとの声、鉄骨製造業からは、組合員の受注残は例年に比べて多く、平成25年3～4月頃までの仕事があるとの声が出ている。非製造業では、袋セメント卸売業から、上越地区での新幹線工事終了に伴い、今後は落ち込みが続くと思われるとの声、商店街からは、12月としては珍しい大雪のためか、各店とも売上に苦労したようだとの声が出ている。また、行政庁・中央会に対する要望として、早急に効果のあらわれる景気対策を望む声が多く、その他にはガソリン価格の引き下げを望む声等があった。